



受賞者のメッセージ

たくさんの愛を注いでくれた
亡き父の思い受け継いで

昨年8月、64歳という若さで亡くなった父。あまりにも突然の死に、家族にぽかんと穴が空いたようでした。ただ救われたのは、父の遺影に無邪気に「じいじ、行ってきま〜す!」と声を掛ける息子の姿。本当に「孫煩悩」な父で、おむつ替えも、離乳食を食べさせるのも率先して。電車ごっこに、水遊び…と、初孫でもある息子に、たくさんの愛を注いでくれました。母は「自分の子育ての時に、これくらいやってくれたら助かったのに」といつも笑っていたほどです。その愛情の深さを肌で感じていた息子は、どんなに泣いていても不思議と父の胸に抱かれると、すやすやと眠っていました。亡き父の思いを受け継ぎ、息子の成長を見守っていきたいと思います。



堀田 瑠衣子さん
(熊本市北区在住)

夫と2歳の息子との3人暮らし。大好きだったじいじが、亡くなる2週間前に夏祭りで撮った1枚。



挿絵制作
大城戸 恵子
artist profile

1976年玉名郡玉東町生まれ。社会福祉法人玉東町社会福祉協議会勤務。大家族での子育て奮闘ぶりを描いたイラストエッセーを新聞社発行の生活情報紙に連載。6歳と4歳の子どもと4世代7人暮らし。

子どもが成長する過程で高齢者と関われる時間が、どんなにすばらしく大切なものか、曾祖父や祖母と同居して育ち、学びました。私の子どもも今、同じ環境で育てています。

おじいさまが元気だったころの、温かさが伝わる孫育ての風景を思い浮かべながら描きました。お子さまの心の中に、おじいさまがいつまでも残りますように…。



この2年 無償の愛を貰ったね
オムツ替えに寝かしつけ
電車ごっこに水遊び
なんでもやってくれたのよ
どうか どうか 覚えていてね
大好きだった じいじのことを